

飲み薬と注射、どっちがいいですか？

精神科認定看護師 若松 健也

精神科の治療といえば、「薬」のイメージが強いと思います。薬といえば飲み薬ですよ。私の場合、飲み薬といえば「飲み忘れ」です。風邪で薬を処方されても、症状が治まってくるとついつい忘れがちになってしまいます。毎日毎日、忘れずに薬を飲むというは大変難しいことですよ。みなさんは薬を飲むことで何か困っていることはありませんか？チェックしてみましょう。

困っていることはありませんか？

- 薬を飲むのを忘れてしまうことがある
- 毎日飲むのが面倒だ
- 人前で薬を飲むことに抵抗がある
- 薬の量を自分で調整してしまうことがある
- 家族や周囲の服薬確認にイラッとする事がある
- 薬を飲む時間が気になって活動を控えることがある
- 再発がとても心配

統合失調症の薬（抗精神病薬）には、飲み薬の代わりにする注射があります。現在飲んでいる飲み薬と同じ薬剤の注射があれば、注射に切り替えることができます。毎日飲むことで困っていることがあれば、注射剤を検討してみてもよいでしょう。

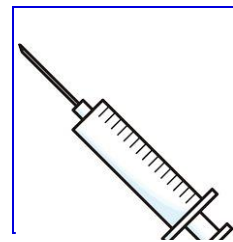
注射の場合、1度注射をすると効果が4週間続きます。ですから、毎日薬を飲む必要がなくなります。（睡眠薬などの他の薬を併用している場合を除きます）



4週間=28日

1日3回飲むと・・・28×3=84回

84 : 1



4週間に1回の注射

(2週間に1回のものもあり)

注射のよい点は、飲み忘れを気にしなくてよいこと以外にもいくつかあります。とくに注射の場合、飲み薬よりも『体の中の薬の量が一定に保たれる』という点です。体の中の薬の量が一定であれば、症状も安定するという事です。

もし、気になったことがあれば担当の医師にご相談ください。

あなたの薬は、あなたが選ぶ、そういう時代に近づいてきています。